

なみ

祝 令和2年南砺市成人式



井波地区の成人式参加者

井波地域 成人式

井波地域づくり協議会

文化・スポーツ部会長

塚八 栄治

この度ご成人されました皆様、おめでとうございます。そしてご両親はじめご家族の皆様にも心からお喜び申し上げます。井波地域で共に暮らすものにとりましても、若い方の晴れ姿を拝見し、心から頼もしく感じ、若人の未来を楽しみにしております。

さて、令和に改元されて初めての井波地域成人式は、井波総合文化センターで行なわれ、成人者75名（井波地区34名）の凛々しいスーツ姿や振り袖姿の集団から聞こえてくる弾んだ声で満ち溢れ館内は花が咲いたようでした。

式典は厳かに挙行され、皆さんの表情から成人としての覚悟と決意が伝わってきました。これからは社会でも職場でも一人の大人としての責任を負って行くこととなります。

続いて行われた新成人の集いでは、みんなで企画した小中学校時代の思い出を綴った映像とナレーションに一喜一憂し、お世話になった、恩師からのお祝いのことばやエピソード紹介で楽しいひと時を過ごし、地区ごとに記念撮影をしてお開きとなりました。

帰り際、玄関口におられた海外からの技能実習生の若者の姿を見たので、「今日はおめでとございました。外は寒いですよ。」と声を掛けたら「サムイ」と返事が返ってきました。

新元号の令和は春の訪れ告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができるという願いを込めて決定されたそうです。何時かみんな故郷に帰ってきて、井波に根付いて、それぞれの花を咲かせてくれることを心から願っています。

安全・安心部会

特殊詐欺被害防止キャンペーン

【期日】令和元年10月15日(火)

となみ野農協井波中央支店前で、年金振込日に合わせ、南砺警察署、南砺市防犯協会、井波地域各防犯組合員、防犯推進員により来店者に犯罪防止被害防止を呼びかけました。



糸魚川防災視察研修に参加して

井波地区防災会女性連絡員代表 酒井 美和子

令和元年10月23日(水)参加者21人を乗せたバスは秋晴れの日本海を眺めながら遠足気分です糸魚川へと向かいました。

到着後、被災地に隣接する糸魚川地区公民館にて大火の様子や復興まちづくりについて市役所や消防署の方から説明を受けました。

平成28年12月22日10時20分ラーメン屋から出火し、フェーン現象による南南東の風に煽られ147棟が焼損したニュースは新聞やテレビで見えていましたが、



復興市営住宅

先ず大火の映像が映し出され建物を超える火炎、賢明な消火活動にもかかわらず燃え上がり、火の粉が飛び瓦の間から又新しい火災が…。母から聞いた大正14年の井波大火の話と重なり鳥肌が立ちました。



初期消火用40mmホース

わいづくり、そして耐震大型防火水槽の設置など消防力の強化。住民の絆を大切に災害に強いまちづくりを進められている事がわかりました。

その後、新しくなった町並みを見学し、初期消火に扱いやすい細かいホースの設置や所々に設けられた緑地などの復興は進んでいます。火元周辺やあちこちに縄が張られた更地が残り失われたもの大きさを改めて感じました。造り酒屋や旅館など昭和初期のレトロ口



研修に参加された皆さん

な町並みは焼失し、焼け残った蔵の横に近代的な建物が建ち醸造を再開されているのを見て、復興への力強さにエールを送りたいですね。近年予想もしない災害が多発しています。貴重な研修を通じ、災害の恐ろしさと防災の大切さを考えるきっかけとなりました。

井波地区防災講習会

安全・安心部会長 竹谷 弘之

安全・安心部会の事業として、11月13日に南砺市総務課長岡芳典氏を講師に迎え、井波地区防災講習会を開催しました。80名を超える多くの参加者があり、感謝いたします。

講習会は「安心のまちづくり・自主防災のすすめ」の演題で、「地震、洪水、土砂災害及び火災への備えに対するポイント」や「用配慮者の安全確保の必要性」更に防災の心得として「自助(自宅での備え)、共助(地域や地区での備え)、公助(南砺市の情報発信)」等の説明がありました。

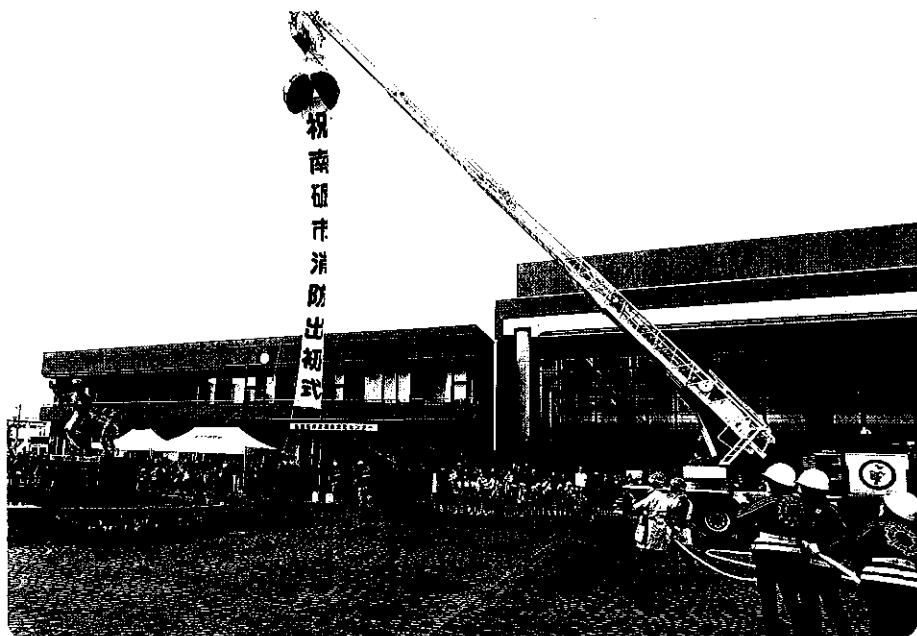
特に、正確な災害情報の確保が必要であるとされ、市の緊急情報(防災無線放送、防災気象情報、なんと緊急メール、市防災アプリの利用)や気象庁等の気象情報の確認と活用が重要と説明がありました。さらに、各家庭では最低3日分の避難備蓄の確保の必要性について話されました。

当部会では10月の糸魚川市防災視察を踏まえた質問や防災無線放送が聞き取れないなどの課題も含め、多くの質問がありました。

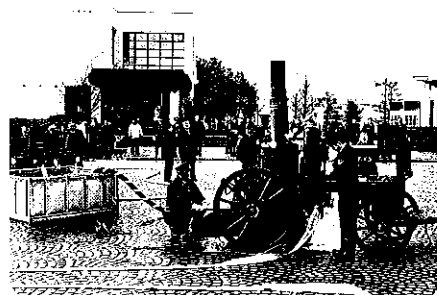
南砺市消防団消防出初式

期日 令和2年 1月4日(土)

南砺市消防団出初式が井波総合文化センターで行われ、センター前の広場では、初放水に合わせて田中市長、武田消防団長と共に、幼年消防クラブ員(にじいる保育園、山野保育園の年長児)による、火災のない一年であるように願いを込めた「くす玉わり」が行われました。



保育園児によるくす玉わり



明治の蒸気ポンプ



また、式典では多年にわたり消防活動に精励し功績のあった団員や家族への表彰状・感謝状の贈呈がありました。

井波分団の受賞者は次の方々です。

- ◇ 永年勤続表彰(15年以上) 野原達也さん
- ◇ 永年勤続表彰(15年以上) 戸田拓也さん
- ◇ 勤続表彰(5年以上) 齋藤洋平さん
- ◇ 退団者感謝状(20年以上) 野村謙一さん

文化財防火訓練「瑞泉寺」

期日 令和2年 1月19日(日)

井波別院瑞泉寺において文化財防火訓練が行われました。

この訓練は法隆寺金堂壁画が焼失したことから、毎年1月26日を文化財防火デーとして定め、この日を中心に全国各地で文化財愛護思想の高揚を図るために行われています。訓練は、瑞泉寺自衛消防隊及び井波方面団、

井口方面団、南砺消防署東分署が参加し行われました。

今年は暖冬で雪のない訓練になりましたが、参加した皆さんは、それぞれの持ち場で、火災に備えて真剣に取り組んでいました。

放水銃による放水訓練



文化財の運び出し訓練

* 消防団員募集中!!

近年の高齢化や人口減に伴い消防団員の担い手が減少しています。年齢18歳以上で、市内に居住又は勤務している方であれば、男女問わず入団できます。消防団の活動を通じて地域に貢献したい方、入団をお待ちしています。



お問合せ 南砺市消防団井波分団
分団長 長井利夫 ☎(82) 1097

福祉・健康部会

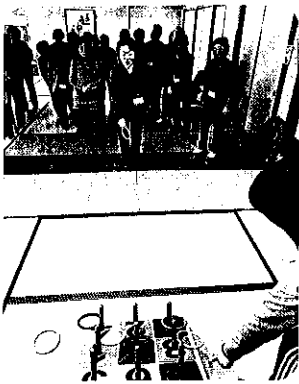
井波地区におけるサロン活動

福祉・健康部会長 横川 仙之

現在、井波地区で行っているサロン活動に係のある事業は大きく分けて3つの種類があります。

1つ目は、井波地区社会福祉協議会が長年続けていた「ふれあいの日」事業です。各町内会において行われている三世交代交流型のサロンであり毎年22〜24の町内会が何らかの形で行っており、わずかですが支援金を支給しています。少し方向性が違ってきている事業もあるようになってきましたが多くの町内会で大変盛り上がっています。

2つ目は、社会福祉協議会も支援しています「いきいきサロン」と「週一健康サロン」です。昨年度は、いきいきサロンは13町内会、週一サロンは6町内会と1団体があり、それぞれ支援金を支給しました。いきいきサロンは開催している時間がある程度長いことが必要であり、行う内容は様々ですが目的は集まる人の親睦と交流です。週一健康サロンは週一回開催し参加者の健康と親睦・交流会・情報の交換を目的としています。今後も開催が増えることに



期待しています。

3つ目は、昨年度より始めた地区社協(現在は地域づくり協議会)の福祉・健康部会(自らが行うサロン)活動です。平成30年度にスタートし、1回あたり1時間半の週一健康サロン普及のために年12回開催し、延べ310人余り参加していただきました。

今年度は今後開催予定の通所型サービスB事業の予行演習として10月より月1回のペースで2年2月まで5回開催し参加者は延べ190人ほどになりました。次年度以降も開催するようにとの要望が大変多くありました。以上、井波地域づくり協議会が関係するサロン事業についての報告でした。



「通所型サービスB」開設に向けて

令和元年度における福祉・健康部会の重要活動の一つである「通所型サービスB」事業をアスモ1階の美容室あとを利用し開所します。

定員は24名で、施設名は「あすも元氣デイ」、代表は井波地域づくり協議会会長が就任し、管理者は福祉・健康部会長、事務は地域づくり協議会

事務局がその任にあたり、運営して行くことになりました。

施設整備の資金として市より200万円の補助を受け、2月末に完成しました。

利用者の募集は市が把握している対象者への呼びかけとあらゆる機会を捉えて体験会への参加呼びかけを徹底して行く予定です。

サービス内容は、健康診断・軽体操・ゲーム・物づくり・茶話会・食事・昼寝等を中心に行い、季節により特別なイベントも取り組んで行きたいと思っておりますが、何よりも参加者の皆さんに喜んでもらえる企画にしたいと思っております。

事前の準備はある程度進んできましたが、これからは利用者登録にウエイトを置いて活動して行きます。

是非皆様方のご利用をお待ちしています。



ご案内

新型コロナウイルスによる感染症対策のため開所を見送っています。

開催が決まれば改めてご案内します。

お問合せ ☎(82) 3744 (10時〜15時)

井波地域づくり協議会 福祉・健康部会

担当:高木

文化・スポーツ部会

秋の歩こう会

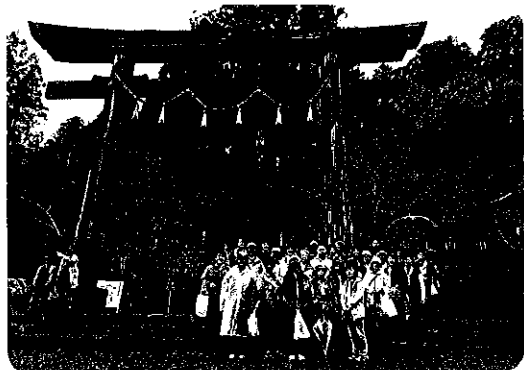
戸隠は地酒と蕎麦だけではなかった

期日 令和元年 10月27日 中村 了秀

行きたくても機会がなく行けなかつた場所にチャンス到来。その場所は長野の戸隠と山形の山寺であり、主な理由は共に地酒と蕎麦である。

雨天模様の中に戸隠神社に着き、先ずは一揖して大鳥居をくぐり奥社に向かう。この参道の両脇にはあたかも参拝者の不浄を洗い流すように幅50センチメートルくらいの山水が流されており、そのまま進んで行くと赤い朱塗りの随神門(邪悪を防御)に着く。ここからは景観が一変し樹齢400年の杉並木は圧巻の極みで、木立を抜け登り石段の彼方に奥社の屋根が見えてくるとホッとすると心持ちになる。

いよいよ本殿となる奥社で参拝する時、19号台風で決壊した千曲川まではそう遠くないであろうと思いを馳せ、被害にあわれた方々への悼みと家内安全とを合せて参拝した。



中社鳥居前にて



奥社から中社への経路は鏡池から小鳥ヶ池の散策路をとり、時々狭霧のかかる道のりは紅葉が適度に濡れて色鮮やか、鏡池に着いた時も霧がかかっており風の具合で見え隠れする戸隠山を借景とする淡く彩色された風景は水墨画のようで一見に値する。心地よい疲れが出た頃に戸隠蕎麦Y屋に着き地酒と蕎麦を堪能することができた。令和になって、今回の戸隠神社を含め何件かの神社仏閣に参拝する機会に出会うことにより、少しばかり心豊かになっていくような心持になるのは年の功か。

生憎と復路共に曇天であつたが心身共に秋晴れの気分ですバスに乗車した。又、気心の通じ合う方々との出会いもあり、このようなコミュニティが町の活性化の一助になってゆくのではないかと考えているうちに33名無事に行政センターに着いた。

「男の料理教室」に参加して

期日 令和元年 12月8日

畑 金次



「男の料理教室」が今年も開催され、今回、井波中学校陸上部の男子9名も参加してくれた。食生活改善グループの皆さんのご指導で進めていただいた。メニューは親子丼・いとこ煮・スープ・ゆずとリンゴの和え物・ケーキである。

作り方の説明を受け、いざ実践。私自身、台所に立つことはまず無い。魚を捌くときぐらいである。食材を洗い皮をむく、そして銀杏切りをしたり、千切りにしたりして食材の下ごしら

えを手伝った。

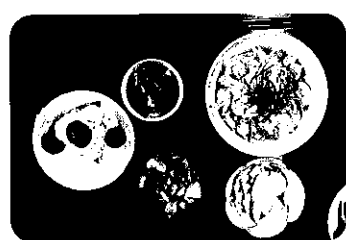
中学生の男子

も頑張っていた。包丁を握ったことがない子供達が食改の方に一つ一つ教わりながら一生懸命手を動かしていた。3人でグループを作り食材を切る者、炒める者、味付けをする者と分担を決め、交代しながら取り組んでいる姿が微笑ましく思えた。

最初は、食材の持ち方、包丁の動かし方も危なっかしく見えたが、覚えも早くなかなかののだ。味付けも食改の方に合格点をいただいてニンマリ笑っていたのが印象的でした。

調理が終わり、食器を並べ盛り付ける。「ここが多いとか少ないとか具が足りない」とか、ワイワイ賑やかでした。盛り付けが終わり、和室に運び皆で会話をしながら、美味しく頂いた。

最後に片付けを行い、生徒たちから「普段出された食事をただ食べるだけだったが、お母さんたちの大変さが少し解ったように感じた。「これからは、食器を出したり、片づけたり出来ることを少しずつ手伝う。」などの感想が聞かれた。



短い時間でしたが楽しいひと時を過ごさせていただきました。



令和2年 南砺市成人式

はたちの抱負

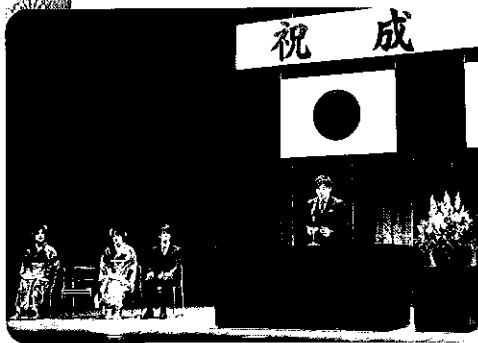
中山 智祐

これまでの20年と5カ月、その中でも特に短いようで長かった小・中・高の学生生活の間ではいろいろなことを学んできました。

僕は5歳から18歳まで13年間剣道を続けていて、小・中・高とも剣道部の部長を務めてきました。部長として不甲斐ないばかりに部員たちがついてきてくれない厳しい時期もありましたが、チームとなって試合に勝利したときなどの達成感と一体感はそれを上回るほどのものでした。

この歳になった今でも新しい体験や学びがありますが、嬉しかったことや悲しかったことといった、今までの人生で経験してきたことが、今の自分を形成する元となったのだと思います。

自立しようと自分と決めて実行したことも



あったけれど、支えられてきたことのほうがはるかに多く、支えてくださった先生方や両親には感謝しかありません。本当にありがとうございます。

今は大学に通い、自分の目的に向けて勉強に励んでいます。

実験などが多く慌ただしい毎日を過ごしていますが、

その充実した学生生活を送れています。このような環境に身をおけていることを感謝しながら、日々を過ごしていきたいと考えています。

大学内にいるとまだ成人になつたという気分を感じませんが、社会からは成人として扱われる年齢になりました。大人になるに当たって、いままでの道のりからは想像できないような困難や高い壁が待ち受けているかもしれない。その困難に負けないように、成人としての準備をしていきたいです。成人になつたからといって、自分ですべて責任を負い、すぐに色々なことをできるようになれば良いのですが、そうではなくこれからも人に頼ってしまうことは多いと思います。しかし頼るばかりではいけない。今までの経験を活かして他の人に頼られるような、そんな社会人を私は目指しています。

この成人式を良い機会と捉えて周りの方に指導ご鞭撻をいただきながらも立派な社会人になれるよう精進していきたいと思えます。



「新成人の集い」実行委員会の皆さん

左義長によせて

期日 令和2年1月13日 久保 大樹

1月13日に井波小学校グラウンドにて、令和になって初めての左義長が行われました。

午前中から準備を始めるのですが、今年は積雪がないこともありまし、先輩たちの手際の良い作業により例年より早くに高さ10mほどもあるやぐらが完成しました。

温かいぜんざいで英気を養い、午後からの本番に備えます。

冷たい雨の中、午後1時半に点火してはじまった左義長は、勢いよく炎がやぐらを包み、多くの正月飾りを焼き上げました。あいにくの天候でしたが、多くの人に来ていただき、子供たちが書いた数々の書初めは空高く舞い上がっていました。

左義長の歴史は古く、平安時代の宮中行事の記録にもみられるようです。令和の時代でも続いている伝統的な行事がこれからも末永く行われることを願いつつ、協力して頂いた各町内会役員の方々、消防団の方々、地域づくり協議会の方々、交通安全協会の方々、そして参加していただいた多くの井波の方々、感謝いたします。



第41回 競書大会

表彰式 令和2年2月1日(土) 午前10時

場所 井波総合文化センター

応募総数421点中、特に優秀な63人の皆さんが表彰されました。



※受賞者のことば※ 4回目の競書大会

井波小学校6年 小久保 光姫

この度は、優秀賞に選んでいただきありがとうございます。今まで佳作を2回受賞した事はありませんが、優秀賞まではとどきませんでした。なので、今年こそは優秀賞を取りたいと思いい、字をいつもより丁寧に書きました。字のバランスが良くなるように、一マスの中の余白が均等になることに気を付けて書きました。また、お手本をしっかり見て、字のとめ、はね、はらいを意識して書きました。

優秀賞という結果を聞いたときはびっくりしてすぐには信じられませんでしたが、一生懸命書いたのとでもうれしかったです。

これからも普段からきれいな字を書けるように努力していきたいです。

競書大会を通して

井波中学校3年 大島 早瑛

初めて競書大会に取り組んだのは、小学校3年生の時でした。お手本そっくりに書きたくて、一枚書き終わるまでにもものすごく時間がかかったことをよく覚えています。賞をいただいた時はとてもうれしくて、次も頑張ろうと7年間真剣に取り組みました。

競書大会が始まると、教室は緊張感に包まれ、誰もが黙々と自分の字に集中します。心が乱れていると、きれいな字は書けません。また、一字一字心を込めて書いた字は、読んだ人に温かく誠意のある印象を与えたいと思います。

私は競書大会を通して、きれいな字を書くことは自分にとって大いにプラスになると感じました。これからも心を込めて字を書いていきたいです。

競書大会審査結果

小学3年生の部

- 優秀賞 瀧田夏睦
- 優良賞 板橋慎琴・板橋祐実・稲塚美智
- 佳作 上野朱里・野村一華・磯邊悠花
藤井美月・森夏奈花

小学4年生の部

- 優秀賞 柏崎彩花
- 優良賞 岩崎美琴・砂田鷹太郎・中山皓斗
- 佳作 近藤光希・杉下ひなた・竹原美遥
高見理衣子・常川紫音

小学5年生の部

- 優秀賞 内河咲来
- 優良賞 高桑日鞠・得永悠衣・池田 絢
- 佳作 中家愛萌・前田琴々美・遠藤沙希
齊藤颯花・野村吏来

小学6年生の部

- 優秀賞 小久保光姫
- 優良賞 木下利佐子・藤井志月・松田侑佳
- 佳作 長谷川結子・林さくら・藤原晴愛
原田彩名・丸山美咲

中学1年生の部

- 優秀賞 高橋 結
- 優良賞 木田夏稀・加藤麻央・金田奈樹
- 佳作 齊藤望瑚・柴田莉緒・長谷川創大
春田瑞月・箭原 葵

中学2年生の部

- 優秀賞 菊野志織
- 優良賞 岩倉なみ・内田裕太・川縁菜々夏
- 佳作 叶山晴絵・藤井心咲・山田莉沙
上野茉莉・武田理桜

中学3年生の部

- 優秀賞 井上莉来
- 優良賞 笠間爽佳・勝又千尋・大島早瑛
- 佳作 島田陽向・高桑敬政・箭原涼太
齊藤柊香・嶋 小雪

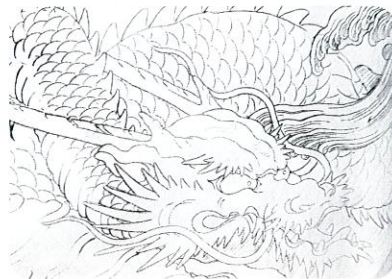
日本遺産について学ぶ

期日 令和元年 11月13日「文化フォーラム」

今回は、平成30年日本遺産に認定された「木彫刻のまち井波」について学びました。

始めに、日本遺産について、そして「宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻の技と美」の中心である瑞泉寺の歴史や歴代の住持職について瑞泉寺輪番常本哲生さんからお話を聞き、本堂や山門、鐘楼の彫刻について長谷川総一郎さんより詳しく教えていただきました。

澤彫刻店では大きな欄間の制作過程を見学し、「伝統工芸士」澤義博さんより井波彫刻についてご説明いただき、師匠である故堀香斧先生の下絵を見せていただきました。「師匠の絵は、構図、空間、バランスが素晴らしく『日本の美』が凝縮されている。井波彫刻の伝統を守りながら発展させていきたい。」と話されました。



百歳元気塾の栄養教室

期日 令和2年 1月24日～3月26日

岸 一雄

高齢化社会を迎え、新聞や雑誌は毎日のように認知症予防等の広告づくめ。「誰としゃべらない無口な一人ウォーキングだけではボケ始める」等の記事まで出るこの頃です。そんな記事を読んでいると、ちょうど「元

気塾」の塾生募集のチラシが配布されてきたので飛びついた。

コースは「脳トレ」「体力測定」「口腔内ケア」「転倒・骨折予防」そして最後に「栄養教室」と5回のコースだ。

「栄養教室」は調理実習と会食です。料理は手伝いする程度で意識的に避けてきたが、家内が出してくれたエプロンを持ち、張り切って家を出た。

実習は時間が2時間半で、5品目にデザート付き。4人一組でスタートしたが何をどうして良いやら分からずいると、食改の方が見かねて見本のサラダを持ってこられ、「これを見ながら作ってみたら」との誘い水でエンジンが掛かった。千切りキャベツ、胡瓜、トマト等順番に入れて完成。

これに勢いづき、助手のように調理、長いと思った時間もあっという間に終了。自分たちで作った料理だと思えば味も抜群。楽しく運動して美味しく食べた「元気塾」でした。

地域づくり部会

新年祝賀会

期日 令和2年 1月2日(木)



井波木彫りの里創遊館において新年祝賀会を開催しました。祝賀会には綿貫民輔元衆議院議長をはじめ多くのご来賓と町内会や各種団体、総勢108名の皆さんにお集まりいただき、盛大に開催されました。

行事のお知らせ

- 4月 6日(月)～15日(水) 春の全国交通安全運動
- 4月中旬 忠霊塔清掃
- 4月下旬 井波地域づくり協議会総会
- 5月下旬 春の歩こう会
- 5月下旬 チャレンジデー
- 6月より 大門川桜下草刈
- 6月中旬 忠霊塔清掃
- 6月下旬 青パト講習会



編集後記

来月から新年度に入り、地域づくり協議会が発足して一年になります。様々な事業や関連する事務手続等に明け暮れ、あっという間の一年でしたが、地域の皆さんのための地域づくり協議会になるよう次年度も頑張ります。一年間ありがとうございました。(事務局)

井波地区の人口と世帯数の推移

△印：減少

	R2.2月末 現在	H31.2月末	増 減
人 口	4,366人	4,472人	△ 106人
男 性	2,039人	2,093人	△ 54人
女 性	2,327人	2,379人	△ 52人
世 帯 数	1,689世帯	1,720世帯	△ 31世帯

発行：井波地域づくり協議会 〒932-0231 南砺市山見1739-2「アスモ」2F
Tel/Fax 0763-82-3744 Email: inami.kmn@gmail.com ホームページ: https://inami-kc.7104.info/